

TCB NewsLetter



撮影：鹿摩隆司



爽やかな風が吹き抜けた、トリプル・ビル2022



コロナによる中止を経て、「トリプル・ビル2022」が3月に開催されました。冒頭に芸術監督の安達悦子がマイクを持って登壇。グローバルな芸術であるバレエは平和の扉を開くものだとの信念を伝え、公演が始まりました。

1幕目は日本のバレエ界を牽引する山本康介振付による『火の鳥』世界初演。写真家・映像作家の笹口悦民の映像が、深い夜の針葉樹の森へといざないながら、時折煙を噴き出す工場の不穏な空気を映し出し、作品の世界観へ引き込みます。中森理恵のしなやかでキレのある火の鳥と、ノーブルなイワン王子（濱本泰然）が好対照をなし、最後に悪魔カッチェイ（内村和真）に打ち勝つ物語は、疫病や戦争など不穏な状況をバレエの力で打破するのだという宣言にも見え、胸を打ちました。

2幕目の『Octet』は、近年当団が日本初演し、レパートリー

化を進めてきたウヴェ・ショルツの作品。メンデルスゾーンの弦楽八重奏の軽やかな音符の一つ一つが動きになっており、再演を重ねて磨き上げた音楽とダンスとの一体感は、胸のすくような快感を醸し出します。清水愛恵、濱本泰然らのベテランに加え、斎藤ジュン、福田建太がソリストとして初参加。その他にも初役で挑むメンバーが多数加わり、春の風を運ぶような清々しい一幕でした。

3幕目は、2年前に初演するはずだったパトリック・ド・バナの『WIND GAMES』。チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲の独奏は、今をときめく三浦文彰。ショルツ作品が音と動きの一体化であるならば、ド・バナの作品は、音と音の間にたゆたう印象。植田穂乃香とキム・セジョンは、スケールの大きなしなやかな動きで間を描き出し、大空に舞う鷹から着想したという作品の「風」を感じさせる舞台でした。

お客さまからは、困難な状況の中、生の舞台に触れられた喜びの声を多くいただき、一同改めて感謝の気持ちを噛み締めた公演でした。



東京シティ・バレエ団「トリプル・ビル2022」

日時：2022年3月10日（木）

会場：東京文化会館大ホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

都民芸術フェスティバル主催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団

主催・制作：公益財団法人東京シティ・バレエ団

about Tokyo City Ballet

1968年日本バレエ界初の合議制バレエ団として設立。以来、古典と創作を両輪として上演している。1994年より東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとう（江東公会堂）にて提携公演を実施。当団ならではの多彩なプログラムを展開し、古典バレエの他、ウヴェ・ショルツ、イリ・ブベニチュク等の作品も意欲的に上演している。「Ballet for Everyone ～バレエの楽しさと豊かさをすべての人と分かち合う～」というビジョンの下、鑑賞教室や小中学校へのアウトリーチ活動、バレエの魅力を伝えるワークショップなども積極的に行っている。2016年公益財団法人設立。

発行 2022年5月20日

発行所 公益財団法人東京シティ・バレエ団

〒136-0073 東京都江東区北砂 2-8-5 ワールドビル1階

contact@tokyocityballet.org

https://www.tokyocityballet.org/

発行人 安達悦子

印刷・製本 Graphic

デザイン 坂東昌子

藤田嗣治美術による“白鳥”、豪華ゲストを迎え再演決定!!



創立50周年記念公演『白鳥の湖』第2幕

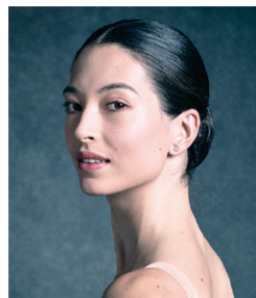
当団創立50周年記念公演で話題を旋風した、藤田嗣治（レオナール・藤田）美術による『白鳥の湖』が、多くのアンコールにお応えして4年ぶりの再演となります。当団創立者の一人・石田種生が生涯探求した本作は、若い王子の成長の物語として描かれています。前回の藤田美術による舞台では、己の運命を切り開いてゆく白鳥たちによる圧巻のクライマックスが、藤田の絵の世界と溶け合って深い感動を呼び起こしました。

その「白鳥」に、パリ・オペラ座バレエ団で活躍するオニール八菜氏とジェルマン・ルーヴェ氏の出演が決定！世界的に注目を浴びる



創立50周年記念公演『白鳥の湖』第1幕

©James Bort グランガラより

オニール八菜
(パリ・オペラ座バレエ団ブルミエール・ダンスーズ)

©James Bort グランガラより

ジェルマン・ルーヴェ
(パリ・オペラ座バレエ団エトワール)佐々晴香
(スウェーデン王立バレエ団プリンシパル)

キム・セジョン

お二方による、美しい舞台美術とのコラボレーションは見逃せません。また、当団バレエ学校・バレエ団出身で、現在スウェーデン王立バレエ団プリンシパルの佐々晴香氏が凱旋！在団中に共に主演をつとめた当団プリンシパルのキム・セジョンとのペアが、オリジナルのドラマを深化させます。さまざまな作品で共演を重ねる井田勝大マエストロと東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団による演奏が、当団のダンサーたちとともに大いなる愛の讃歌を響かせます。より深くお楽しみいただくためのコンテンツは、公演特設サイトで順次公開となりますので、そちらも合わせてご期待下さい。

東京シティ・バレエ団『白鳥の湖』～大いなる愛の讃歌～

日時：2022年8月13日（土）13:30 / 18:00 開演

14日（日）15:00 開演

会場：新国立劇場オペラパレス

>>公演詳細は本誌3ページをご覧ください

サポーターズクラブ TCB 会員募集中

サポーターズクラブTCBは、東京シティ・バレエ団の活動に賛同し、サポートしてくださるみなさまのための会です。会員になると、チケットのご優待（ブロンズ会員以上）、特別イベントのご招待、クリスマスカードなど、さまざまな特典がございます。ご入会をお待ちしております。

詳しくは東京シティ・バレエ団事務局までお問い合わせください。

tel:03-6666-0390 / E-mail:contact@tokyocityballet.org

【年会費】（ほか法人会員あり）

ダイヤモンド会員	500,000 円
プラチナ会員	100,000 円
ゴールド会員	50,000 円
シルバー会員	10,000 円
ブロンズ会員	5,000 円
フレンズ会員	3,000 円

撮影：鹿摩隆司

新たなキャスティングも 『ジゼル』 好評発売中！

19世紀フランスにて諸芸術の間で広がったロマン主義の影響を受けて誕生した、ロマンティック・バレエ。幻想的で演劇的要素の濃いことが特徴であり、『ジゼル』はその最高峰とされています。

村娘ジゼルと貴族の青年アルブレヒト、2人の身分違いの恋と真実の愛を描いた儚い物語。のどかな農村風景から裏切りを知った狂乱の場面へと続く第一幕と、精霊たちのバレエプラン（＝白のバレエ）が美しい第二幕で構成される不朽の名作です。

ティアラこうとうでは2015年以来の全幕公演となる当団の『ジゼル』は、金井利久振付のドラマ性の高さや小栗菜代子氏デザインの美しい衣装にもご好評いただいています。2日は確かな実力で魅せる清水&キムペア、3日は斎藤&福田のフレッシュなペアでお届けいたします。両日違ったキャストの魅力にもご期待ください！

※音楽は録音音源を使用します。



清水愛恵、キム・セジョン



斎藤ジュン、福田建太

東京シティ・バレエ団『ジゼル』

日時：2022年7月2日（土）17:00開演／3日（日）14:00開演（45分前開場）

会場：ティアラこうとう大ホール

料金：全席指定 SS席：10,000円、S席：8,000円、A席：5,000円、

当日学生席：2,500円（当日残席がある場合のみ販売／高校生以上25歳以下の学生対象／要学生証提示）※5歳以上入場可

主催・制作：公益財団法人東京シティ・バレエ団

シェイクスピアのゆかいな魔法の世界『真夏の夜の夢』全幕上演！



撮影：鹿摩隆司



日生劇場版『真夏の夜の夢』が待望の全幕上演で登場！今年も東京シティ・バレエ団が日生劇場ファミリーフェスティバルをお届けします。妖精の王と女王であるティターニアとオーベロンは、主演を重ね好評を博した清水愛恵と濱本泰然ペア、華やかな魅力で人気を集める吉留諒と飯塚絵莉のペア。いたずら好きの妖精パック役は岡田晃明と渡部一人。パックによる惚れ薬の取り違えから森の中は大混乱！？妖精と人間が繰り広げるドタバタな恋騒動の行方は？不思議でロマンティックな森の中へ、妖精たちが皆さまをいざないます。2005年以来の全幕公演となる当団の日生劇場版『真夏の夜の夢』は、演出を中島伸欣、振付を中島伸欣と石井清子が務めています。日本人の感性に寄り添いつつもシェイクスピア劇の魅力に迫った、楽しいバレエを、ぜひご期待ください！

日生劇場ファミリーフェスティバル2022

『真夏の夜の夢』～日生劇場版～

日時：2022年7月16日（土）～18日（月・祝） 10:30／15:00 開演

会場：日生劇場

指揮：井田勝大 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

主催：公益財団法人ニッセイ文化振興財団 [日生劇場]

公演情報

◆ 東京シティ・バレエ団『ジゼル』

日時：2022年7月2日（土）17:00開演 7月3日（日）14:00開演
会場：ティアラこうとう大ホール

料金：SS席 10,000円、S席 8,000円、A席 5,000円、
当日学生席 2,500円 ※当日残席がある場合のみ高校生以上25歳以下の学生を対象として販売 要学生証提示 ※5歳以上入場可

主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう

チケット
発売中

◆ 日生劇場ファミリーフェスティバル2022

東京シティ・バレエ団 バレエ『真夏の夜の夢』～日生劇場版～

日時：2022年7月16日（土）～18日（月・祝） 10:30/15:00 開演
会場：日生劇場

料金：S席 大人 7,000円 子ども 3,500円
A席 大人 5,000円 子ども 2,500円

指揮：井田勝大 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

主催：公益財団法人ニッセイ文化振興財団 [日生劇場]

チケット一般発売日：2022年5月26日（木）11:00

※『日生劇場Webチケット会員』は先行予約が可能（5月18～23日）です。
詳しくは日生劇場ホームページをご確認ください。

◆ 藤田嗣治美術『白鳥の湖』

日時：2022年8月13日（土）13:30／18:00 開演
14日（日）15:00 開演

会場：新国立劇場オペラパレス

料金：SS席 15,000円 S席 12,000円 A席 10,000円
B席 6,000円 C席 4,000円 ※未就学児入場不可

指揮：井田勝大

演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団

チケット発売…2022年5月28日（土）10:00

◆ 第8回東京シティ・バレエ団全国バレエコンペティション

日時：2022年8月25日（木）／26日（金）／27日（土）

会場：ティアラこうとう大ホール

料金：プレコンペティション部門：15,000円（税込／アドバイスシート付き）
ジュニアA～C・シニア部門：25,000円（税込／予選のみアドバイスシート付き、プログラム1部、記念品付き）

主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団

入場チケット：予選・決選（3日間）通し券 2,000円

チケット発売…2022年6月10日（金）10:00

東京シティ・バレエ団付属バレエ学校のご案内

当校は、バレエの道を目指す方を対象に、ダンス・クラシックを基礎として、バレエおよび舞台芸術に関する研究・研鑽を行っています。個々の能力を最大限に開花させ、質の高いバレエ芸術を創造する基礎をつくることを目的としています。

※豊洲教室についてはウェブサイトをご覧ください。

クラス名	レッスン日	時 間	入所方法	見学
クラス S	月 (隔週)	18:30~20:00	年2回のオーディション により選抜。 次回は2022年10月2日実施	不可
クラス A	火・木・金	18:30~20:00		
クラス B	火・木・金	19:30~20:50		
クラス C	火・水・木	火・木 18:00-19:20 水 19:30-20:50		
クラス D	水・金	18:00~19:20		

撮影：鹿摩隆司



リレーコラム

撮影：鹿摩隆司



にいざと まりえ
新里茉莉絵
2016年入団



茉莉絵ちゃんとは組ませていただく機会も多くあり、エネルギー溢る踊りと作品に取り組む真摯な姿勢を見て、とても刺激を受けています。

レッスンやリハーサルにおいて妥協なく踊りを追求していく反面、リハーサル外ではたまに抜けているところがあり(このあいだはボトムスを逆に履いていました)、周りを和ませてくれるような一面もあります。思いやりに溢れみんなから好かれる彼女はバレエ団になくてはならない存在だと思っています。

これからもそんな茉莉絵ちゃんの活躍に、ぜひご注目ください！

次回は新里茉莉絵が石井日奈子をご紹介します。

土橋冬夢が新里茉莉絵をご紹介します！



ー バレエを始めたきっかけは？

母が近所のバレエ教室に連れて行ってくれたのがきっかけです。もともと朝から夕方までずっと外で遊んでいるくらい身体を動かすのが大好きだったため、見学に行った際すぐに習いたいと言ったそうです！

ー バレエの好きなところは？

バレエ団員みんなでリハーサルを重ね作品を作り上げていくという過程も好きですが、やはりそれを舞台という特別な空間でお客さまにお届けする時の喜びはとても幸せを感じます。

ー 現在のマイブームは？

リラックスできて、香りのいい入浴剤を集めることです。可愛いパッケージにも惹かれて見つけるといついっしょ購入してしまいます。

ー 舞台メイクをする時のポイントは？

横から見た顔が綺麗に見えるように、シャドウやラインの入れ方に気をつけています。

ー 現在のマイブームは？

現在もピラティスインストラクターの資格を持っているのですが、さらにそれを深く勉強して自分のためにも教えている生徒さんのためにも役に立てるといいなと思っています。あとは、怪我のない健康な身体作りのためにも、いろいろなものを作れるように、お料理の勉強もしたいと思っています！

メディア情報

テレビ・新聞・雑誌他

【NHK バレエの饗宴 2021 in 横浜『Air!』】

- 青林堂「週刊オン☆ステージ」2021年11月5日 第2291号 公演評
- 新書館「ダンスマガジン」2022年1月号 公演評
- 「NHKバレエの饗宴2021 in横浜」2022年3月20日放送

【トリプル・ビル 2022】

- 青林堂「週刊オン☆ステージ」2021年11月12日 第2292号 公演告知
- 青林堂「週刊オン☆ステージ」2022年1月21日 第2296号 公演告知
- 新書館「ダンスマガジン」2022年6月号 公演評 パトリック・バナ氏 インタビュー

【その他】

- 調布FM「東京オアシス」2021年12月30日放送 安達悦子出演
- 新書館「ダンスマガジン 3月号」2022年3月1日 植田穂乃香 インタビュー
- 新書館「バレエ♡ヴァリエーションPerfectブック」2022年3月25日発行 志賀育恵
- 新書館「クララ」2022年4月号 若生加世子指導、曾根菜奈実(附属バレエ学校生徒)モデル
- 山口県民文化ホールいわくに シンフォニー岩国「シンフォニア岩国情報誌ひびき vol.148 Hibiki2022年度主催公演ラインナップ」みんなの音楽学校「特別版」新体感！バレエ音楽の世界 告知
- 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団「カルナビ」2022年04月10日発行 No.479

WEB

【トリプル・ビル 2022】

- PICE 2022年1月8日 「東京シティ・バレエ団の芸術監督 安達悦子に聞く〜「トリプル・ビル2022」で魅せるカンパニーの進化形」インタビュー
- 家庭画報.com 「山本康介さんが新しい時代のバレエを！東京シティ・バレエ団「トリプル・ビル2022」より『火の鳥』」インタビュー
- 児玉初穂「舞台の謎」4月6日 公演評

【その他】

- バレエチャンネル 2022年1月11日「バレリーナに教わるレッスンへアfile.6」東京シティ・バレエ団 庄田絢香『超ロングヘアで作るシンプルシニヨン』インタビュー
- バレエチャンネル 2022年4月4日「【動画レポート】江東区森下をバレエの街に！森下文化センター×東京シティ・バレエ団『チャイコフスキー・ガラ・バレエコンサート』」